

「真に必要なとされる施策とは何か」

杉本議員団長が新年度一般会計予算などで総括質疑

日本共産党上越市議団の杉本団長が先月28日、市民の暮らしを守る立場から総括質疑を行いました。以下は総括質疑の一回目の質疑の概要です。

【杉本敏宏議員】 予算編成方針で「第5次総合計画の財政フレームに裏打ちされた、真に必要なとされる施策を計画的に実施するため、財源のより効率的で効果的な活用を図らなければならぬ」と述べているが、「真に必要なとされる施策」とは、具体的にはどの施策なのか。また、予算編成方針で「義務的経費である人件費の削減と扶助費の見直しにより捻出した財源」と述べているが、どの程度の規模か。その財源は、「真に必要な行政サービスの財源として有効に活用する」としているが、この財源が活用された施策は何か。

【木浦市長】 平成20年度の予算編成においては、予算編成方針で示した「財源のより効率的で効果的な活用」によって「真に必要な行政サービス」の財源確保に努めながら、改定した第5次総合計画に掲げる5つの「まちづくり重点戦略」を基軸に、基礎的な市民サービスを維持拡充しつつ、さらに将来に向けて着実に前進するための確かな予算となるよう努めた。「真に必要なとされる施策」とは、正にこのような視点で見極め、予算付けした施策の総体を指しているものと、ご理解いただきたい。これらの施策を実施する財源を確保するために、歳出面においては、経常的経費の中で不要不急な事業を緊急性、重要性の観点から吟味した上で、徹底した見直しを行った。これらにより捻出した財源は、歳出全体の中で、予算編成方針に掲げた「真に必要なとされる施策」の財源の一部として活用したところであり、具体的には、国民健康保険や介護保険、さらには新たな後期高齢者医療などの社会保険制度の安定的運営、上越地域福祉総合拠点整備事業や高齢者見守りネットワーク

国保税、値上げして基金積み立ていかがか

【杉本議員】 国民健康保険税の大幅値上げで市民が苦勞しているのに財政調整基金に2年間で4億円も積み立てるといっているのはどういう考えか。また、保険税の引き下げに使われているのは実質6億5千万円であるが、これでは大幅な値上げを抑えられないのではないか。

【木浦市長】 財政調整基金は、予期せぬ要因による保険給付費等の一時的な増加が生じた場合のために備えておくもので、国保事業を継続的・安定的に運営していく上では必要不可欠なものだ。しかしながら、当市の財政調整基金の残高見込みは、平成19年度末で700万円程度となっており、まだ2か月分の支払いが残されている本年度におきましても正に綱渡りをするような事業運営をしている状況にあり、今後、感染症などが突発的に流行した場合などには、保険給付費の支払いが滞る事態にもなりかねない。そのため、この度の税率改正に当たっての収支見直しにおきましても、平成20年度及び21年度の2か年で合わせて10億5千万円を臨時的に一般会計から繰り入れる予定とし、平成22年度末までに4億円を財政調整基金に積み立てる計画としたものだ。いずれにいたしましても、こうした中で35%を超える見込みとなった税率の引上率を、一

ク事業の充実、大潟町中学校校舎等改築事業、子育てジョイカード事業の充実、環境基本計画推進事業の推進及び健康シティ上越・2010事業の充実など、福祉、教育、子育て、生活環境など市民生活に直結する事業への重点化を図ったところであります。

【杉本議員】 扶助費の見直しが行われている。上越市の扶助費の構成比は、7・9%から9・5%に伸びているが、類似団体の約14%（17年度）の3分の2程度でしかない。本当に扶助費は多いと思うか。

【木浦市長】 当市の扶助費の構成比9・5%は、類似団体平均の扶助費の構成比約14%よりは下回っているのが実態だ。各市には地勢や産業構造などの違いや個性とともに、積み上げられてきた福祉施策の歴史的背景があることも事実であり、生活保護費など法律扶助以外の任意扶助に相当する、いわゆる上乗せ横出しの福祉サービスは、これまでの議会や市民の皆さんとの議論を経て、形成されてきたものだ。法律扶助は別として、任意扶助に各市で相違があることはこのような理由からである。



般会計からの臨時的な補てんをすることで平成20年度においては15・7%に抑えることとしたことをご理解いただきたい。

【杉本議員】 予算編成方針で「急激な負担増を緩和するため、臨時的に一般会計から繰り入れて対応する」としているが、22年度以降も継続しないのはなぜか。

【木浦市長】 国保会計への一般会計からの「法定外繰入れ」は、税の二重負担になりかねないことなどの問題点が指摘されている。独立採算制という保険事業の性質を考え合わせると、今回はあくまでも臨時的措置で、決して恒常的に行うものではないという基本的な考えはこれまでと何ら変わらぬ。今後は、収支見直しを繰り返して検証しつつ、適宜、税率を見直し、安定した国保会計の運営に努めてまいりたい。

日本共産党上越市議団ニュース

No.128	2008年3月9日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)